

行政視察報告書

令和6年 3月 4日

長浜市議会議長 中川 勇 様

長浜市議会議員 千 田 貞 之

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 恵風会視察研修 報告書
2. 視察期間 令和6年2月20日(火)～2月21日(水)
3. 視察場所及び目的
 - ①内閣府・政策統括官(防災担当) ○地方自治体における防災対策等
○避難情報に関するガイドライン
○避難所について
 - ②仙台市 仙台1番町スタジオ ○「勉強カフェ」について
 - ③福島県双葉町議会 ○東日本大震災・原発事故と復興状況

4. 調査内容感想等

・視察・研修の目的

本年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」の発生を機に、今一度防災に関して学び、各自治体特有の災害状況を想定し、それに対して議員はもちろん、地域の一人として自助、共助、公助の役割を如何に責任ある行動がとれるのかを知識と原子力災害の被災をされた福島県双葉町の人々の声を聴き、今後の防災に生かす目的で研修をしました。

又、「勉強カフェ」については、全国各地で直営、フランチャイズなど経営をされている現状を知り、本市でのニーズに合わないか調査しました。

・視察内容

先ず、総務省、消防庁 国民保護・防災部、内閣府政策統括官 防災担当 調査企画、避難生活担当より今回の「令和6年能登半島地震」、更に過去の災害からの教訓を生かした国の政策などを享受し、それを本市の災害、防災対応などに反映できるように学びました。

その中で、各自治体において地域防災計画の作成、災害種別ごとに様々な主体の役割を明らかにしながら定められます。

更に、市町が行う災害応急対策を進めるための災害対応力強化研修、それらの事例などの公表もされていることも知りました。

業務継続計画において、計画の中核になる6要素の提示、非常用電源の浸水対策、「指定緊急避難場所」、「指定避難所」の指定制度、「避難行動要支援者名簿」「個別避難計画」などの対策費用の充当率の高い交付税措置が令和7年度までの時限措置として十分な支援政策があることも知りました。そして、その政策は、新設、更新もあります。

次に、福島県双葉町の地震、原子力災害。被災後13年目となり、その後の現状を知るために研修しました。13年前の「東日本大震災」から復旧、復興が進んでいるのかを現地の双葉町議会において、総務課長、議会議長より説明を受け、現地案内もしていただきました。

「勉強カフェ」という2008年に家では勉強できない、カフェでは1日中勉強できないという一人の会社員の悩みから誕生しました。受験生から、大人の学びの場所を会員制で借りられるいわゆる有料自習室です。全国的に各地で直営、フランチャイズ、2013年からアライアンス店舗など数多く営業されている店舗です。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

①地域防災計画に基づき、行政の役割を明確化して平時からの備え、■防災情報システムの整備■受援体制の整備等、災害時の対応の重要性を再認識しました。■発災時の情報収集、分析、■救助・救急活動の迅速な行動。

次に、被災者支援については、平時の■避難所の指定・確保、■応援職員の受け入れ体制の整備 発災時の被災者支援においては■避難所の運営、生活環境の整備■住まい確保等の確な対応がとめられます。

今回初めて知りましたが、防災機能の強化のための修繕、資機材整備、耐震化のための国からの財政支援が財政措置として、充当率100%の特別交付税措置が拡充されていることを知りました。本市でも原発近隣自治体として、十分な支援措置を求めていることを知りました。

又、能登半島地震で最も要望されているトイレカー補助についても令和6年度から「緊急防災・減債事業債」の対象になりますし、ドローンの活用や防災行政無線も同報系と一体整備として、代替整備・機能強化についても令和7年度までの時限措置として認められていることを考慮して国に要望すべきであると思えます。

②「勉強カフェ」については、現在、中高生向けにえきまちテラスにおいて設置されている「サードプレイス」の大人バージョンのようにも思いますが、これを数年前から事業化されていることを考えるとニーズがあると思います。行政としても、若者定着のツールとして検討してはどうかと思いました。

③福島県双葉町での研修は原子力災害の被災はもちろん東日本大震災での津波被害など想像を絶する災害を、我々に十分すぎるほど体験させていただきました。今も放射能汚染が残る地域が隣接し、除染地域で昨年、町役場が再建され、13年を経て、これから少しずつ復興を目指して前向きに力強く話されていたことが、印象的でした。目に見えない放射能汚染の被害を避けることの困難さ、風向きを感知して、その時の避難に自ら行動することの大切さを教えられました。防災訓練ではバス移動がされていますが、そんな余裕はないこと、ヨウ素剤配布等できないこと、自助の大切さなど訓練でも、緊張感のある防災訓練の実施を話されていました。これが、防災の第一歩であることを学びました。